

2. 部門別二酸化炭素排出量の推移（自家用車を家庭部門へ）

部門別排出量のうち、運輸部門を細分化し検証を行う。運輸部門は、自動車（自家用車、営業車）、鉄道、船舶から構成され項目ごとの排出量は下表のとおりとなる。運輸部門の排出量のうち、もっとも多いものが自家用車で 54.5 万トンとなっており、次いで営業車の 25.6 万トンとなっている。一例として、部門別の排出量について、運輸部門の自家用車を家庭での利用として、家庭部門に含め推計した結果、産業部門に次いで、家庭部門の排出量が 2 番目に大きくなるという結果となった。

運輸部門の内訳

（排出量：万トン-CO₂）

	平成 2 年度 (1990 年度)	平成 7 年度 (1995 年度)	平成 12 年度 (2000 年度)	平成 17 年度 (2005 年度)	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 24 年度 (2012 年度)	対基準年度 増減率(%)
自動車(自家用車)	49.7	63.0	68.7	60.3	51.1	54.5	9.7
自動車(営業車)	23.9	36.9	39.1	25.7	26.4	25.6	7.1
鉄道	2.3	2.2	1.8	2.2	2.2	2.3	0.0
船舶	3.6	4.8	5.5	7.6	6.2	6.9	91.7

表 2. 部門別二酸化炭素排出量の推移（自家用車を家庭部門へ）

（排出量：万トン-CO₂）

	平成 2 年度 (1990 年度)	平成 7 年度 (1995 年度)	平成 12 年度 (2000 年度)	平成 17 年度 (2005 年度)	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 24 年度 (2012 年度)	対基準年度 増減率(%)
産業部門	120.6	121.1	110.5	117.1	123.5	123.3	2.2
家庭部門 (自家用車含む)	70.5	85.8	90.8	88.1	80.4	84.7	20.1
業務部門	60.4	71.4	71.6	77.1	77.5	80.8	33.8
運輸部門 (自家用車除く)	29.8	43.9	46.4	35.5	34.8	34.8	16.8
非エネルギー起 源CO ₂	54.0	44.6	48.5	49.8	46.5	45.9	△15.0
計	335.3	366.8	367.8	367.6	362.7	369.5	10.2

図. 部門別二酸化炭素排出量の推移

